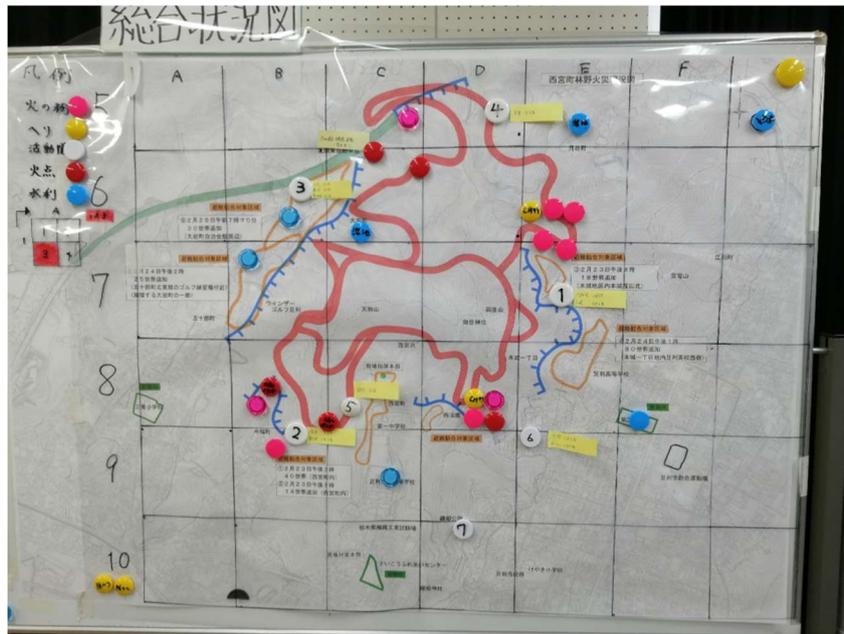


<別紙2> 足利市における令和3年2月の林野火災における奏功事例

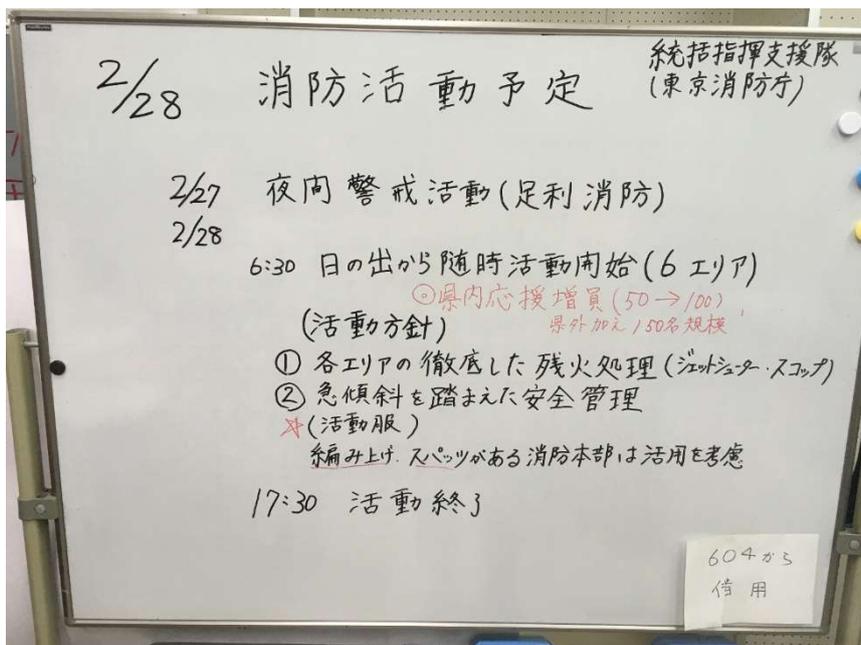
【奏功事例1】(p10、2(4)エ(ア))

足利市における林野火災では、ヘリの活動エリア、陸上部隊の活動エリア、火点の状況、水利の状況等を記載したグリッド図を掲示し、共有した。



【奏功事例2】(p10、2(4)エ(イ))

足利市における林野火災では、関係機関の活動状況を時系列に沿って記載したホワイトボードを設置した。



【奏功事例3】 (p10、2 (4) エ (ウ))

足利市における林野火災では、毎朝、熱源感知機能付きのヘリテレを活用して、現地指揮本部に延焼状況を提供し、適切な部隊配置等の検討に役立てた。

【奏功事例4】

足利市における林野火災では、警察により消火活動に伴う交通規制（防災ヘリ、自衛隊ヘリ離発着時含む）、避難勧告箇所を中心とした防犯パトロール、避難所立ち寄りによる警戒活動などが行われた。（出典：「足利市西宮林野火災の記録～火災の概要と本市等の対応～」（令和4年2月、足利市） p28）

【奏功事例5】 (p11、2 (5) ア (イ))

足利市における林野火災では、木々等の燃焼体への浸透性が高く、少ない水で消火することが可能な、普通火災用消火薬剤を残火処理に使用することで、背負い式水の水の消費を抑え、隊員の給水場所と活動現場との往復回数を減らし、負担を軽減した。

【奏功事例6】 (p16、2 (5) イ)

足利市における林野火災では、より安定し多くの散水が可能になるよう火災発生地近傍にフォワードベースを設定し、直近河川（無限水利）を給水場所として確保するとともに、水深が浅くバケツによる給水が困難な場合や、消火タンク付随のポンプに不具合が発生した場合でも消火活動ができるよう大型水槽車を配置した。